



伊賀市立壬生野小学校
2024年12月9日
発行責任者 藪中 俊典

個別懇談会（希望者）へのご出席ありがとうございました。

例年は12月に開催していた個別懇談会ですが、早い時点で、保護者の方と子どもたちの成長や課題を共有し、それぞれが何をしていくかを確かめ合うことをねらいとして、今年は7月末に、全員を対象とした個別懇談会を開催させていただきました。そのため、今回は、希望者のみの懇談会とさせていただきますが、どの学年も多くの保護者の方にご出席いただけたこと、大変うれしく思っています。

これからも、お子さんの成長のために、学校と保護者が同じ方向を向いて、教育・子育てを進めていきたいと思っていますので、よろしくお祈りします。

持久走記録会が開催されます。

寒い中ですが、ご声援よろしくお祈りします。

学年	計測時間※	記録会開催日及び時限(スタート予定時刻)	予備日及び時限(スタート予定時刻)
1年生	5分間走	12月9日(月)2限目(9時50分スタート)	12月12日(木)2限目(9時50分スタート)
2年生	5分間走	12月9日(月)3限目(11時00分スタート)	12月11日(水)4限目(11時50分スタート)
3年生	7分間走	12月11日(水)3限目(11時00分スタート)	12月12日(木)3限目(11時00分スタート)
4年生	7分間走	12月10日(火)3限目(11時00分スタート)	12月13日(金)3限目(11時00分スタート)
5年生	10分間走	12月10日(火)4限目(11時50分スタート)	12月12日(木)4限目(11時50分スタート)
6年生	10分間走	12月11日(水)2限目(9時50分スタート)	12月13日(金)2限目(9時50分スタート)

※走り続ける時間

5年生 収穫したお米を活用する

壬生野まちづくり協議会の「産業振興部会」の方とJAの方にご協力いただき収穫したお米ですが、先日、5年生の子どもたちには、2kg入りの米袋を持たせましたので、ご家族みなさんと、子どもたちが育てた「新米」をお召し上がりください。

3学期には、また、「産業振興部会」の方とJAの方にご協力いただき、収穫した米から作った米粉を用いた調理実習を予定しています。

さらに、今年は、収穫した米の一部を社会福祉協議会に寄付をして、社会のために活かしていただくことも計画しました。こうした取組を通じて、「自分たちも社会の一員である」という自覚を促すとともに、「みんなが住みよいまち」としていくために、自分には何ができるのかを考え、行動できる子どもになってほしいと願っています。



オーストラリアでの16歳未満のSNS禁止法案について考える

オーストラリアでは、11月29日に、「16歳未満の子どもたちによるソーシャルメディアの利用を禁止する法案」が可決されました。

この法案の可決に対しては、賛否両論、様々な意見があります。また、その効果に疑問を呈する方も多くいます。

例えば、ユニセフの担当者は、「SNSの規制が問題をすべて解決するわけではない」と指摘をしたうえで、以下のような懸念を表明しています。

“子どもたちがより隠された空間に”
「ソーシャルメディアが禁止されることで、子どもたちがより隠された、規制のないオンライン空間に追いやられるだけでなく、子どもたち自身の幸福に不可欠な要素にもアクセスできなくなる」

また、千葉大学教育学部の藤川大祐教授は、以下のように言われています。

“SNS禁止すれば子どもの居場所が奪われる”
「SNSの利用を禁止すれば子どもたちの利用が大幅に減り、事件や事故の被害に遭うリスクが減るメリットはあるものの、子どもたちが必要な情報を受け取れなくなったり、自らの意見を表明できなくなったりして、居場所を奪われることを非常に懸念している。本来はSNSすべての利用を禁止するべきではなくて、安全な情報にはアクセスできて、安全でない情報だけブロックするのが望ましい」

しかし、一方では、こうした規制をせざるを得ない社会の現実にも目を向ける必要があります。オーストラリアでは近年、子どもたちがSNSにのめり込み、日常生活や心の健康に悪影響が出ることへの懸念が高まっているほか、SNSを通じて悪質ないじめにあたり、性被害にあたり、自殺にまで追い込まれたりするケースがたびたび報道される事態が相次ぎ、保護者を中心に規制を求める声が高まっています。オーストラリアでの最新の世論調査の結果では、国民のおよそ77%がこの法案に賛成しているとの報道もあります。

日本においても、山口県光市で起きた事件をはじめ、SNSなどによる「闇バイト」が大きな社会問題となっています。また、2月には、大阪府門真市で、SNSの匿名書き込みやLINEグループで起きたいじめにより、中学3年生が命を絶つという痛ましい事件も起きました。

こうした現状に対して、各国では、右のように「未成年者のSNSの規制」の議論が進められています。

学校では、3学期にも、学年に応じた「情報モラルの学習」を行う予定です。ご家庭でも、冬休みを前に、今一度、SNSをはじめとする「ネットの利用」について、お子さんと話をしていただきますようよろしくお願いいたします。

各国で進む未成年者のSNS規制	
 オーストラリア	16歳未満の利用を禁止する法案を提出。運営企業に最大約50億円の制裁金を科す
 米国	州ごとに未成年者のSNS利用を規制。ニューヨーク州は、18歳未満の利用に際し保護者同意を義務化
 英国	運営企業に有害なコンテンツへの未成年者のアクセス防止策を義務付ける「オンライン安全法」が成立
 カナダ	運営企業に有害な投稿への子供のアクセス防止策を義務付ける法案を今年提出
 ノルウェー	政府が、15歳未満のSNS利用を禁止する法案を検討

※各国報道などを基に作成